



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場会社名 (株)東京放送ホールディングス
コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 俊爾

問合せ先責任者 (役職名) 経理局経理部長 (氏名) 伊藤 博信

TEL 03-3746-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	170,502	△0.8	4,816	10.1	6,554	15.7	6,654	129.5
26年3月期第2四半期	171,803	△0.4	4,376	△10.6	5,664	△3.2	2,899	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 19,225百万円 (22.4%) 26年3月期第2四半期 15,704百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	41.11	—
26年3月期第2四半期	18.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	597,292	403,085	64.2
26年3月期	579,039	385,971	63.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 383,420百万円 26年3月期 366,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年3月期	—	8.00	—	11.00	円 銭	19.00
27年3月期	—	10.00	—	—	円 銭	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	円 銭	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	351,000	△0.9	17,400	10.9	19,700	8.9	13,400	38.9	82.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	190,434,968 株	26年3月期	190,434,968 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	28,512,632 株	26年3月期	28,590,009 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	161,859,340 株	26年3月期2Q	153,168,975 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
㈱TBSテレビ第2四半期事業収入の内訳	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

日本銀行の「金融経済月報」によりますと、わが国の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響から生産面を中心に弱めの動きがみられているものの、基調的には緩やかな回復を続けています。

こうした中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,705億2百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益48億1千6百万円（同10.1%増）、経常利益65億5千4百万円（同15.7%増）、四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したこと等から66億5千4百万円（同129.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<放送事業セグメント>

放送事業セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は1,058億2千万円（前年同期比1.1%増）、営業損失3千1百万円（前年同期は6千6百万円の営業利益）となりました。

放送事業の主力である株式会社TBSテレビは、当第2四半期連結累計期間のタイム収入が前年同期比0.2%増、スポット収入が同1.0%減となりました。

タイムセールスは、「2014FIFAワールドカップ ブラジル」、「アジア大会2014 韓国仁川」といった大型のスポーツ中継番組の放送があり、ほぼ前年並みの売上となりました。一方、スポットセールスは、消費税増税の反動の影響に加え、「アジア大会」の放送に伴うスポットセールス枠の縮小といった要因もあり、前年実績にわずかではありますが届きませんでした。TBSテレビでは、この上期の改編で、平日午前中のベルト帯2番組を「あさちゃん!」「いっぷく!」に一新し、多様な視聴者獲得に全力をあげています。

株式会社B S-TBSは、タイムセールス、スポットセールスともに好調で、売上は前年同期比7.2%増と堅調に推移しました。昨年7月に放送設備を更新したことに伴い減価償却費が増加した影響等で、営業利益段階では減益となりました。

株式会社TBSラジオ&コミュニケーションズは、今年8月のビデオリサーチ首都圏聴取率調査においてもトップを記録し、2001年8月調査以来、まる13年2ヶ月・79期連続で首都圏ラジオ首位の座を守り続けております。8月の調査では、最高聴取率ランキングでも上位10番組のうち7番組がTBSラジオという快挙を成し遂げております。ラジオを取り巻く環境は依然厳しいものがありますが、コストコントロールを徹底しながらも聴取者の期待に応えてまいります。

<映像・文化事業セグメント>

映像・文化事業セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は569億6千2百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益9億5千7百万円（同2.1%減）となりました。

催事・興行では、国立新美術館において「魅惑のコスチューム：バレエ・リュス展」を開催し、ファッションに興味を持つ若い女性たちに好評でした。舞台では、7月から8月まで東急シアターオーブでトニー賞5部門受賞の舞台「War Horse～戦火の馬～」を上演しました。映画は、8月に「ルパン三世」が公開され162万人を動員（9月末日現在）するヒットになりました。

メディアビジネス関連では、CS事業のTBSチャンネル1は引き続き音楽ライブが牽引し、TBSチャンネル2では、横浜DeNAベイスターズ主催公式戦を完全生中継しました。海外事業では、ほとんどのドラマが台湾・香港・タイで販売が成立し、アニメは新作・旧作いずれも北米・欧州での販売が伸びております。また、DVD事業では、「S（エス）-最後の警官-」「Dr. DMAT」などの作品をリリースしました。

このほか、スタイリングライフグループでは、中核である小売事業の「プラザスタイルカンパニー」が、消費税増税の駆け込み需要の反動の影響も残る中、増収増益を確保しました。

<不動産事業セグメント>

不動産事業セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は77億1千9百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益38億8千8百万円（同16.6%増）となりました。

赤坂サカスは、各種の興行や「Sacas広場」で開催される様々なイベントを通じて文化・エンタテインメントの発信地としての人気を揺るぎないものとしております。今年も7月から8月に「夏サカス2014デリシャス～番組グルメでおもてなし～」を開催し、133万人の方々に来場していただきました。今後もTBSグループや番組をより身近に感じていただくための体験イベントの開催などに加えて、赤坂の街と連動した地域密着イベントにも力を注いでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は5,972億9千2百万円で、前連結会計年度末に比べて182億5千2百万円の増加となりました。受取手形及び売掛金が30億9千7百万円減少、前払費用が23億7千6百万円減少、有形固定資産、無形固定資産が減価償却等により45億7千6百万円減少した一方、現金預金、有価証券を合わせた手元資金が136億1千9百万円増加、保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が149億4千5百万円増加したこと等によります。

(負債)

負債合計は1,942億6百万円で、前連結会計年度末に比べて11億3千7百万円の増加となりました。支払手形及び買掛金が41億7千2百万円減少、未払法人税等が23億5千6百万円減少した一方、保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債（長期）が77億6千9百万円増加したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は4,030億8千5百万円で、前連結会計年度末に比べて171億1千4百万円の増加となりました。四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き46億2千3百万円増加したことに加え、その他有価証券評価差額金が120億5千6百万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は64.2%、1株当たりの純資産は2,367円93銭となっております。

(連結キャッシュ・フロー計算書に関する定性的情報)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は599億2千2百万円で、前連結会計年度末に比べて36億1千万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、131億4千4百万円の収入になりました（前年同期は109億8千5百万円の収入）。主な増額要因は、税金等調整前四半期純利益89億2千4百万円、減価償却費73億1千7百万円、売上債権の減少額30億9千7百万円等、一方、主な減額要因は、仕入債務の減少額41億7千2百万円、法人税等の支払額39億1百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、66億6千2百万円の支出となりました（前年同期は169億4千7百万円の支出）。収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入78億2千7百万円等、支出の主な内訳は、有価証券の取得による支出（純額）99億9千4百万円、有形固定資産の取得による支出39億5千4百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、28億9千万円の支出となりました（前年同期は86億9千9百万円の収入）。支出の主な内訳は、配当金の支払額17億7千6百万円、長期借入金の返済による支出6億円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、スポット収入や映像文化事業の収入が当初の想定を下回る水準で推移したため売上高は前回予想を下回りましたが、営業利益、経常利益はコストコントロールが順調に進んでいることから、前回予想を上回りました。また四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益などが更に加味され前回予想を上回りました。

一方、通期の業績につきましては、下期のテレビ広告収入の伸び悩みを見込み売上高は前回予想を下回る見通しですが、コストコントロールの継続により営業利益、経常利益は、前回予想と同額を予想しております。また当期純利益につきましては、上記第2四半期連結累計期間における四半期純利益の上方修正を反映して前回予想を上回る見通しです。

こうした状況を勘案し、平成26年5月13日の業績予想を下記の通り修正し、平成26年11月4日に公表いたしました。

なお、配当予想につきましては、平成26年5月13日に公表した予想に変更ございません。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
平成26年5月13日発表 (A)	357,000	17,400	19,700	10,700	66 11
平成26年11月4日発表 (B)	351,000	17,400	19,700	13,400	82 77
増減額 (B-A)	△6,000	—	—	2,700	—
増減率	△1.7%	—	—	25.2%	—
前期実績	354,338	15,696	18,096	9,644	61 22

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法、割引率の決定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、これによる損益及び財政状態に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,331	22,951
受取手形及び売掛金	38,297	35,199
有価証券	1,205	47,205
商品及び製品	6,951	7,173
番組及び仕掛品	7,654	7,075
原材料及び貯蔵品	686	603
前払費用	10,731	8,354
繰延税金資産	4,018	3,661
その他	5,529	5,661
貸倒引当金	△143	△119
流動資産合計	130,262	137,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	195,975	196,226
減価償却累計額	△90,875	△93,388
建物及び構築物 (純額)	105,100	102,837
機械装置及び運搬具	89,235	89,617
減価償却累計額	△78,999	△79,720
機械装置及び運搬具 (純額)	10,235	9,897
工具、器具及び備品	26,848	27,747
減価償却累計額	△23,853	△24,906
工具、器具及び備品 (純額)	2,995	2,841
土地	84,006	84,007
リース資産	6,959	6,906
減価償却累計額	△4,051	△4,259
リース資産 (純額)	2,908	2,647
建設仮勘定	2,382	2,397
有形固定資産合計	207,628	204,628
無形固定資産		
ソフトウェア	4,704	4,138
のれん	23,196	22,331
リース資産	238	182
その他	1,669	1,581
無形固定資産合計	29,809	28,233
投資その他の資産		
投資有価証券	195,713	210,658
長期貸付金	288	281
繰延税金資産	1,980	2,146
長期前払費用	713	573
その他	13,029	13,388
貸倒引当金	△386	△386
投資その他の資産合計	211,339	226,661
固定資産合計	448,777	459,523
資産合計	579,039	597,292

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,327	30,154
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,200
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	9,925	9,040
未払法人税等	4,485	2,129
未払消費税等	686	2,075
未払費用	5,526	5,605
役員賞与引当金	195	44
その他の引当金	1,434	1,273
その他	5,135	5,095
流動負債合計	83,117	76,819
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	24,800	24,200
環境対策引当金	176	120
退職給付に係る負債	14,460	15,022
リース債務	1,320	992
繰延税金負債	24,778	32,547
その他	14,415	14,503
固定負債合計	109,951	117,386
負債合計	193,068	194,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	59,512	59,512
利益剰余金	235,548	240,171
自己株式	△36,970	△36,878
株主資本合計	313,076	317,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,860	64,917
繰延ヘッジ損益	306	545
為替換算調整勘定	△31	3
退職給付に係る調整累計額	146	161
その他の包括利益累計額合計	53,282	65,628
少数株主持分	19,611	19,665
純資産合計	385,971	403,085
負債純資産合計	579,039	597,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	171,803	170,502
売上原価	121,141	120,063
売上総利益	50,662	50,439
販売費及び一般管理費	46,286	45,622
営業利益	4,376	4,816
営業外収益		
受取利息	27	24
受取配当金	1,736	1,850
持分法による投資利益	139	574
その他	451	298
営業外収益合計	2,354	2,747
営業外費用		
支払利息	567	478
固定資産除却損	98	140
その他	399	391
営業外費用合計	1,066	1,010
経常利益	5,664	6,554
特別利益		
投資有価証券売却益	1,026	2,965
固定資産売却益	41	-
関係会社株式売却益	6	-
特別利益合計	1,074	2,965
特別損失		
投資有価証券評価損	63	328
減損損失	42	146
投資有価証券売却損	-	119
送信所移転対策損失	1,100	-
特別損失合計	1,206	595
税金等調整前四半期純利益	5,532	8,924
法人税、住民税及び事業税	1,633	1,559
法人税等調整額	584	463
法人税等合計	2,217	2,023
少数株主損益調整前四半期純利益	3,314	6,901
少数株主利益	415	246
四半期純利益	2,899	6,654

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,314	6,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,172	12,058
繰延ヘッジ損益	168	238
為替換算調整勘定	48	29
退職給付に係る調整額	-	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	12,389	12,324
四半期包括利益	15,704	19,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,264	18,999
少数株主に係る四半期包括利益	439	225

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,532	8,924
減価償却費	7,227	7,317
長期前払費用償却額	133	128
減損損失	42	146
のれん償却額	802	865
投資有価証券評価損益(△は益)	63	328
退職給付費用	876	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	174
固定資産除却損	98	140
送信所移転対策引当金の増減額(△は減少)	△593	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△23
受取利息及び受取配当金	△1,763	△1,874
支払利息	567	478
持分法による投資損益(△は益)	△139	△574
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,026	△2,845
売上債権の増減額(△は増加)	4,309	3,097
たな卸資産の増減額(△は増加)	204	439
前払費用の増減額(△は増加)	1,477	2,395
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,045	△4,172
その他	△1,951	73
小計	12,823	15,019
利息及び配当金の受取額	1,769	1,995
利息の支払額	△566	△477
法人税等の還付額	312	509
法人税等の支払額	△3,353	△3,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,985	13,144
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	△9,994	△9,994
有形固定資産の取得による支出	△6,237	△3,954
無形固定資産の取得による支出	△1,018	△407
投資有価証券の取得による支出	△75	△0
投資有価証券の売却による収入	4,032	7,827
関係会社株式の取得による支出	△3,483	△227
その他	△171	95
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,947	△6,662

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△600	△600
自己株式の処分による収入	11,883	178
配当金の支払額	△1,678	△1,776
少数株主への配当金の支払額	△285	△265
その他	△621	△426
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,699	△2,890
現金及び現金同等物に係る換算差額	73	17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,810	3,610
現金及び現金同等物の期首残高	68,031	56,312
現金及び現金同等物の四半期末残高	70,842	59,922

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	104,717	59,530	7,556	171,803	—	171,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	873	1,964	2,789	5,627	△5,627	—
計	105,590	61,495	10,345	177,431	△5,627	171,803
セグメント利益	66	978	3,335	4,380	△4	4,376

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	105,820	56,962	7,719	170,502	—	170,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	741	1,604	2,817	5,163	△5,163	—
計	106,562	58,567	10,536	175,666	△5,163	170,502
セグメント利益又は損失(△)	△31	957	3,888	4,814	2	4,816

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

㈱TBSテレビ第2四半期事業収入の内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期 (25.4.1~25.9.30)	当第2四半期 (26.4.1~26.9.30)	増減		前事業年度 (25.4.1~26.3.31)
	金額	金額	金額	増減率	金額
テレビ	90,985	90,544	△441	△0.5%	184,154
タイム・番組制作	43,509	43,603	94	0.2%	86,568
スポット	41,316	40,924	△392	△1.0%	85,484
その他	6,159	6,016	△142	△2.3%	12,101
事業	13,527	12,031	△1,496	△11.1%	28,655
不動産	1,469	1,492	22	1.6%	2,933
合計	105,982	104,068	△1,914	△1.8%	215,743